

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第 60 号	氏 名	古田 賢
審 査 委 員		主 査 氏 名	石井 博幸
		副 査 氏 名	黒田 嘉紀
		副 査 氏 名	落合 秀彦
[論文題名]			
Acute and massive bleeding from placenta previa and infants' brain damage Ken Furuta, Shuichi Tokunaga, Seishi Furukawa, Hiroshi Sameshima, Early Human Development. 90 (2014) 455-458.			
[要旨]			
<p>筆者らは宮崎県の population based database を用いた後方視的研究により、常位胎盤早期剥離による脳性麻痺(CP)のリスク因子である PVL 発症について検討した。その結果、約16万分娩中60例の前置胎盤症例のうち、5例でPVLを認め、内4例が脳性麻痺となっていた。しかし、これらの症例ではアシドーシスや胎児心拍モニタリング異常、新生児低二酸化酸素血症、新生児低血圧症は認められず、5例とも妊娠30～31週で短期間での大出血が認められたのみであった。結論：前置胎盤からの急激な大量出血は胎児胎盤循環に影響し、PVL については CP 発症のリスク因子となることを初めて実証した。</p>			